イーハトーブ

関西岩手県人会報　第７号

2007年6月20日発行

関西岩手県人会
〒530－0001　大阪市北区梅田1丁目３番１－900
大阪駅前第1ビル９階　岩手県大阪事務所内
Tel ＆ Fax　06－6344－5969
発行代表者　堯　律子
編集代表者　松坂定徳

平成19年度総会開かれる　新役員人事満場一致で承認

平成19年度の定時総会は6月2日（土）11時より11時45分までの予定で、12時から14時までが「懇親会」の予定で開催された。場所は岩手県大阪事務所が所在する大阪駅第1ビル12階「神仙閣」。出席者は予定の人数よりは多少少ないが51名が参加した。当会場が初めての方もあり、司会の判断で5分間遅らせてスタートした。

議事進行要領は事務局が作成した行事次第に従って進行された。1、開会。2、議長選出。3、会長挨拶。4、議題4－1）平成18年度事業報告・収支決算の承認及び監査報告。4－2）平成19年度事業計画案及び収支予算案の承認。4－3）役員の選任。4－4）その他。の順によって審議された。

今年の司会は鎌田副会長がのっぴきならない用件のため欠席されたので松坂副会長が代役となって進行させた。司会の挨拶のあと、議長選出に入り、慣例として県人会会長が議長となっているので、堯会長に議長を依頼したいと司会から提案したところ、全員了解して頂いたので、堯会長が議長となり、議長の主導で議事を進行させた。

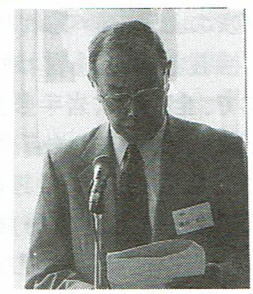
議長：堯会長

議題（4－1）「平成18年度事業報告・収支決算の承認及び監査報告」を一括上程し、議長の指名で熊谷事務局長から昨年度実施した事業内容を説明し、続いて収支決算の内容も説明した。この中で、前年度の支出で特例のものはアテルイ・モレ関係であり、水沢市が奥州市となり柏山副会長が相原市長を表敬訪問した交通費補助金と枚方市牧野公園内に出来た「アテルイの首塚」に、「伝、阿弖流為・母禮之塚」の石碑が建立されたのに5万円を寄付したことを説明した。枚方付近の会員は「関西岩手県人会」の名前も石碑に刻まれているので是非見て頂きたい。と付け加えた。議長は山口修監事に監査結果の報告を求めたところ、平成19年5月9日に諸帳簿及び書類を監査した結果、適切且つ正確に記載されていることを確認した。と監査報告を行った。議長が質問を求めたところ、「会報イーハトーブ」の制作方法について質問があり、事務局長から次の通り説明した。

「現在のところイーハトーブの制作担当は、松坂と鎌田が担当している。経費節約のため購入したパソコンを活用して鎌田が入力の全てを担当して、割り付け・版下作成まで行っているので、印刷代は特安の費用で出来上がっている。1回の発行費用は2万円弱で、全会員に配布し、約200部を発行している。と説明した。議長は他に質問の無いことを確認し、承認の意志表示を求めたところ、全員拍手を以って承認した。続いて議題（4－2）「平成19年度事業計画案及び収支予算案」の承認の件を一括上程した。

ここでも議長の指名により事務局長が説明に立ち、事業計画案と予算案を説明したところ、異議無く承認された。

次に議長は、議題（4－3）「役員選任」の件を上程し、本件は会則第8条により、役員の任期は2年と定められていて、今年は新しく平成19年度・20年度の役員候補を役員会で選出させて頂いたので審議頂きたいと述べ、その経過と役員名を紹介するようにと松坂副会長を指名した。



熊谷事務局長

議長の指名で、松坂副会長から経過が説明された。従前の役員改選に当っては、役員会の意志とは異なるところで役員の選考が行われたこともあり、特定の役員の思惑によって役員会を混乱させた例もあったので、それらを引き起こすのは全て役員会の意志の疎通を欠いていることから発生するのであり、役員の意志が確認されていないことを反省し、役員会の意志を反映させるために、会長・副会長・事務局長が統一見解を見出せるように「三役会議規程」を成立させた。また役員を選出するにあたっては、役員の総意で選出できるように「役員選考委員会規程」も作成し、この基準に基づき役員会で役員候補として推薦されたのが、次の方々です。

会長＝堯律子。副会長＝柏山喬・鎌田龍児・松坂定徳・熊谷克巳＝事務局長兼任。常任幹事＝青柳信雄・内堀勉・加藤文雄・村上忠夫・池田希和夫・藤原照雄・溝井まさ・和賀志郎・八幡勝栄。幹事＝藤井勝・和賀亮太郎・小山綾子・岡田公子・和田浩・濱本昌範。
職指定幹事＝村田重昭（岩手めんこいテレビ）・平澤政敏（岩手県大阪事務所長）・佐々木勇（IBC岩手放送）・菅野智（テレビ岩手）。監事＝松本泰州・山口修。
なお顧問には、泉秀二・佐々木登の各氏であると紹介した。議長は、以上の各氏に今後2年間、関西岩手県人会の世話役をお願いしたいと述べ、賛否を求めたところ、賛成、異議なしの声があり、全員の拍手を以って承認可決した。

議題（4－4）その他の案件を上程したが、特別な提案事項もなく、総会の議案は全て終了した。予定していた時間通り11時45分の終了でありました。

【総会後の懇親会】

同じ会場に料理を運ぶ時間、15分休憩して12時から懇親会がスタートした。

司会は総会に続き松坂副会長で、来賓は昨年も出席頂いた岩手県の竹内副知事のご臨席を賜り、懇親会に華を添えて頂いた。副知事は一関一高の出身で同級生の鈴木綾子さんも駆けつけて下さいました。

堯会長の挨拶では、竹内副知事のご臨席に感謝し、これから2年間、県人会をお世話する役員の方々も決まり、今まで以上に岩手県人会の輪を強固なものにしたい。岩手県は色々な面で話題となり、NHKの「どんど晴れ」ではキレイな岩手県の景色が見られるのが楽しみである。県人会は、親睦団体であり会員の皆さんとの交流が密になるように努力していきたい。と述べた。続いて来賓挨拶があり、竹内副知事が次のように述べられた。

会長さんからも言われたとおり「NHKのどんど晴れ」のお陰で、全国的に岩手県をPRして頂いて本当に有難いことだと喜んでいます。岩手県には国立公園が2つある。「陸中海岸国立公園」と「十和田八幡平国立公園」。国定公園も2つあり「早池峰国定公園」と「栗駒国定公園」である。本当に美しい岩手県であり、四季折々の景色を楽しむことが出来る。産業面では経済的には厳しいが、着実に集積している。

祝辞：竹内重徳副知事

トヨタ系の自動車産業が県内で月産30万台、その他の企業も頑張っている。財政的には厳しいが着実に芽生えている。今年の統一地方選挙で前増田知事が引退され、新しく達増（たっそ）知事42歳が誕生した。

全国で一番若い知事である。若いけれども政治家としてはベテランであり、衆議院議員を4期経験している。若いだけに清新さに溢れ、何かをやってくれるものと期待している。希望に満ちた岩手県を創って呉れるものと期待している。今日は達増知事が来られれば良かったのですが、岩手県に競馬場が2か所あり、盛岡と水沢にありますが、経営上厳しい状況にあり、今日が盛岡競馬場の今年度初の開催日であり、経営の建て直しのため檄を飛ばしに行っています。県政の上でも競馬場の運営は、重要事項の一つになっていますので、今日は、そちらの方に行っています。知事の祝辞を預かって参りましたので、ご披露させて頂きます。（祝辞は別項）

乾杯：柏山副会長

続いて柏山副会長の乾杯の発声音頭に呼応して、大合唱の乾杯で賑やかな懇親会が始まった。カラオケに入る前に祝電披露が行われた。

「平成19年度総会のご盛会をお祝い申し上げ、関西・岩手の交流・促進にご尽力頂く皆様に深甚なる敬意を表します。今後の両地域の益々の発展を期待申し上げますと共に、貴会の尚一層のご活躍ならびに会員皆様のご健勝を心からお祈り致します。」

民主党代表・衆議院議員　小沢一郎。

もう一通は「関西岩手県人会の皆様、総会のご開催おめでとうございます。本来でしたら、私も駆けつけたかったのですが、公務のために出席できず残念です。このたびの総会が、貴会のますますの発展の契機になることを祈念し、同郷の仲間として連帯のメッセージを贈ります。」

2007年6月2日　衆議院議員　穀田恵二。

カラオケタイムとなり、堯会長が主催する「どんぐりコール」に所属する若くて美男子で、数々のコンクールに受賞している鈴木健司さんがきれいな声を披露してスタートした。最初はリクエストが少なくどうしようかと思いましたが、時間が経つに連れて申し込みが殺到し、竹内副知事を交えて合唱するなど賑やかな懇談会になった。

会場予約の14時があっという間にきてしまい、佐々木顧問の一本締めが行われ、平成19年度総会の懇親会を終了した。

編集局

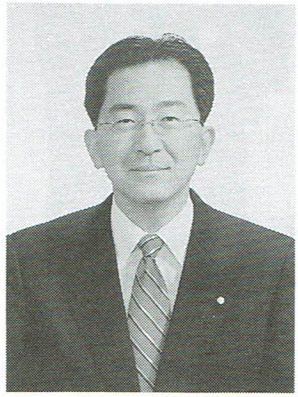
jengo3周年フェア！

豊かなふるさとの味覚が10%引き

アイスクリームや地ビール・ワインの試飲セール有り
7月13日（金）～16日（祝）
大阪・心斎橋東急ハンズ東隣
06－6241－7144

「買うなら岩手のものを！」

達増知事祝辞



平成19年度の関西岩手県人会懇親会が盛大に開催されるに当たり、お祝いの言葉を申し上げます。

まずもって、県人会の皆様には、日頃から、県産品の普及、観光宣伝の展開など県政のあらゆる分野にわたり、多大なるご支援、ご尽力を賜り感謝申し上げます。

また、全国高等学校野球選手権大会や全国高等学校ラグビー選手権大会等の出場選手に対する暖かい励ましなど、数々のご協力に対し、改めて厚くお礼を申し上げます。

私は、この度の選挙におきまして、県民のご信託をいただき、知事として県政を担当することとなりましたが、その責任の重大さに身の引き締まる思いをいたしているところであります。県政の推進に当たりましては、郷里に熱い想いを抱かれながら関西をはじめ全国各地で活躍しておられる岩手県出身者の方々の力強いご支援が必要でありますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

さて、本県を取り巻く社会経済情勢は、本格的な人口減少・高齢社会への移行や経済のグローバル化の進行、地方分権改革の進展など時代の転換期にあります。私はこうした状況のもと、危機を希望に変えるために、産業の活性化や地域の文化・歴史を生かした県土の発展を機軸に据え、全ての県民が共に生きる「希望王国岩手」の確立に向けて、信念と情熱を持ち、真摯に全力を傾注して取り組んで参る所存であります。

ところで、岩手県は地場産業での人材や農業の担い手確保に強い危機感を持っているところであります。団塊の世代は全国に約7百万人、大都市圏に在住している岩手県出身者が5万人と推測されておりますが、その技術や経験、ノウハウを地域産業の振興や地域づくりに活かしていただきたいとの考えから、団塊の世代を中心とした本県との交流や移住の促進を県政の重要課題に位置づけて取り組んでおります。

本日、皆様のお手元には定住と交流のPRのため、NHK朝の連続テレビ小説「どんど晴れ」とタイアップしたパンフレットなどを同封させていただきました。皆様には引き続き、故郷との交流を深められますとともに「買うなら岩手のものを」「雇うなら岩手の人を」とPRしていただくとともに、起業や転職、転居などをお考えの際には、是非岩手に戻られ、ご活躍くださいますようお願いいたします。

「どんど晴れ」の放映とともに、本県では今年の夏、JRグループと共同で「北東北大型観光キャンペーン」を展開することとしております。この機会にぜひ足をお運びいただき、見どころ満載の三陸海岸地域や県北地域など、岩手の魅力を十分に堪能していただきたいと思います。

終りに、ふるさと岩手の発展のため、なお一層のご協力、ご尽力を賜りますようお願い申し上げますとともに、関西岩手県人会の益々の発展と、ご参会の皆様方のご健勝、ご活躍を心からお祈りいたしまして、お祝いの言葉といたします。

平成19年6月2日

岩手県知事　達増　拓也

竹内副知事を囲んで記念撮影

関西岩手県人会

関西岩手県人会

枚方市牧野公園の「首塚」を

「伝　阿弖流為　母禮之塚」と命名・除幕式

【史実】

大和朝廷が坂上田村麻呂を征夷大将軍に任命して、蝦夷征伐を成功させたことは有名です。

延暦21年(802)4月15日、水沢地方を拠点として朝廷の攻勢を阻止していた蝦夷（えみし）の首領の「アテルイ」と副将の「モレ」が田村麻呂将軍の人格・識見を信頼し、郷土の平和と安定を願い、部下500人と共に投降した。7月10日、田村麻呂将軍はアテルイとモレを連行して京都に凱旋した。7月25日、田村麻呂将軍はアテルイとモレの人物を高く評価し朝廷の許しを得て、蝦夷地の平定と安定した統治に役立てたいとして、両名の助命を嘆願した。8月13日、公家たちの合議により、アテルイとモレの二人は「えみし」の賊首であるから将軍が望むように罪を許し、蝦夷地に放還させたならば、虎を養って再び野に放つようなもので将来に禍根を残すことになる。との反対意見によって、二人は“河内国杜山〔もりやま・植山（うえやま）又は楸山（すぎやま）とも〕で斬首”された。（日本紀略）

ところが日本紀略の原本が失われ、3通りの写本が現存する。その写本の処刑地は、杜山・植山・楸山と書かれている。古来どの地名が正しいのかを特定できずに今日に至っている。

【伝承】

河内国に杜山・植山・楸山の地名が現存するかと言うと、どの地名も現存していない。過去に楸山と似た杉村と言う村落があったが、そこにはアテルイやモレに関連する痕跡はない。杜山は類似の地名が見当たらない。

ところが「植山」については、同音の読み方で「上山」があり、それは現在の枚方市宇山の地名である。宇山の地は、元和元年（1615）に宇山と改称されたが、それ以前は「上山」と云われていた。上山と植山は同音同義語であり、同一の地名と考えられている。且つ宇山・牧野地区には人知れず大物武将を斬った場所と語り継がれている「伝承」がある。

宇山には胴体を埋めたとする「胴塚」があり、隣接する牧野には首を埋めたとされる「首塚」がある。首塚には昭和40年代までは大小二個の標石が置いてあったが、現在は一個のみになっている。両塚には同様な忌避・祟りの風習が根強く残っていて、旧村民以外の者に他言すると家族に“祟りが起る”とか“災いが生じる”と畏れられていた。宇山・牧野地区は元々河内一ノ宮と言われる「片埜神社」の境内であり、鬱蒼とした繁みの林中であって一般の人は立ち入らない場所であった。

今では住宅地となっているが、最近まで“祟り”による不幸に巻き込まれないために伝承などを他言することを避ける風習があったと地元民は語る。地元民にとっては、有難くない伝承であり、厄介な「塚」の存在であった。このことを片埜神社の先々代の宮司（第121代）岡田始氏が書き留めていた。

この伝承を聞き付けた河北新報社（本社・仙台市）が昭和54年3月25日付け新聞で、アテルイの処刑地「首塚」を発見したと「胴塚」・「首塚」の写真を入れて公表した。

【アテルイ顕彰運動の歴史】

平成元年、関西に住む水沢商業・水沢商高の同窓会の人達が「関西水沢同郷会」（会長・高橋敏男氏=関西岩手県人会常任幹事）を結成し、「アテルイの首塚」と伝承されているが、実際には、何の記載も無い「塚」であり、アテルイの由来を記した掲示板か標識を建てて、「アテルイを顕彰したい」と枚方市に申入れた。ところが、平成2年に「アテルイの首塚である確証がないので表示を認めることはできない」との回答があり、枚方市牧野公園内の「アテルイの首塚」を顕彰することを断念した。

立案計画した高橋会長や安倍満穂副会長達は、枚方市が駄目なら坂上田村麻呂と深く関係する「清水寺」に建てられないかと考えた。その使者として水沢出身である京都市議会議員の穀田恵二氏（現、国会議員共産党国会対策委員長）を立てて打診したところ良好な感触であるとの報告がなされた。

平成2年10月8日、高橋会長と安倍副会長は、岩手県立宮古水産高校、大鎚高校で16年間教鞭を執ったことのある清水寺勧学長の福岡精道師を訪ねて建碑趣意書を提出し協力を求めた。師も趣旨に賛同され協力を約束された。 同年10月22日、清水寺執事長・大西眞興師より建碑許可の内諾を得た。「中略」森清範貫主は田村麻呂公とアテルイ・モレの友情の絆が1200年を経て実現することは観音様のお導きであると歓迎され、平安建都1200年を記念して平成6年11月6日『“北天の雄　阿弖流為　母禮之碑”』を建立した。

平成16年11月6日、「アテルイ・モレの碑」建立10周年記念法要を実施し、この時、水沢市無形文化財行山流鹿踊の奉納があり、同時に「アテルイの首塚」にも奉納した。

水沢の「アテルイを顕彰する会」では枚方市の「アテルイの首塚」から片埜神社第122代岡田一郎宮司司祭により分詞された御霊を水沢市に迎えた。

平成17年9月17日、水沢市羽田町羽黒山出羽神社境内に建立された『“阿弖流為　母禮之慰霊碑”』に御霊を納めて除幕式が行われた。

【「アテルイ・モレの塚碑」除幕式・祝賀会】

平成19年3月4日、無名であった「アテルイの首塚」に『“伝　阿弖流為　母禮之塚”』と命名した生駒産の黒御影石にアテルイとモレの名前を刻んだ石碑が建立された。

今回の建碑で、“アテルイ・モレの故郷・水沢に慰霊碑”を、“田村麻呂との友情の絆がある・清水寺に顕彰碑・鎮魂碑”

が、“河内国植山の終焉の地・牧野公園に命名碑”が建立された。

森貫主と関西･アテルイ･モレの会小瀬川会長と役員

3拠点の碑文は清水寺･森清範貫主の揮毫である。関西岩手県人会･関西アテルイ･モレの会及び役員有志も又と無い機会であるので寄付をさせて頂いた。

除幕式では、地元関係者を含め約300名が出席し、関西岩手県人会の堯会長が除幕の綱を、祝賀会会場は最寄の阪自治会館で開催された立食パーテーには有志120名が出席され盛会であった。枚方中司市長、清水寺森貫主や奥州市岩井助役、胆江日日新聞の安彦編集長、関西アテルイ･モレの会の小瀬川会長等が祝辞を述べられた。関西岩手県人会から堯律子･小瀬川操一･柏山喬･村上忠夫･加藤文雄･松坂定徳の各役員と会員の高橋正吾氏も出席された。奥州市から駆けつけた出席者と関西岩手県人会から出席した人達で「ああアテルイ」の歌を合唱して祝賀会を盛り上げた。　　松坂記

岩手の自慢400字

(4)知事自慢

岩手県の知事さんは皆さん立派な方ばかりで岩手県人として自慢できる一つです。

昨年来、他県の知事さんで不祥事を起して逮捕されると言う情けないニュースが流れました。それに対し、岩手県の歴代の知事さんを見ますと、誰一人として県民を裏切る犯罪行為をされた知事さんは居られないことを誇りにしたいのです。私が物心付いた頃の知事さんは国分謙吉さんでした。坊主頭で岩手県民のDNAを前面に表したような方で、子供心にも親しみを感じられる知事さんでした。2期8年務められ、次は阿部千一知事さんで2期、千田正知事さんが4期、中村直知事さんが3期、工藤巌知事さんが1期。そして改革派知事として岩手県を前面に押し出して八面六臂の活躍でマスコミに人気がありました増田寛也知事さんがこの4月で3期･12年間を精力的に活動され任期満了を以って退任されました。今度は全国一若い42歳の「達増拓也知事さん」が引継がれました。若いエネルギーで財政難の岩手県を県民が真に豊かさを実感できる岩手県に誘導して頂きたいと願っています。　　藤原　勉

ふるさと便り

四季彩る公園に衣替え一北上市展勝地

北上市は本年度、みちのく三大桜名所の一つとして知られる展勝地公園の拡張工事に着手する。樹齢80年を越す桜並木の保全を中心に据え、観桜台の設置、多彩な桜･草木の植栽、水辺再生などを整備計画素案に盛り込んだ。さくらまつり期間に人出が集中する公園から、四季を通じて楽しめる公園へのイメージチェンジを狙う。公園の総面積は約16,7ヘクタール、事業費約19億8000万円で2012年度にはほぼ整備を終える。　　（岩手日報HPより）

事務局掲示板

会員動向

新加入（敬称略）

有馬葉子（陸前高田市）　今北久美子（陸前高田市）

村上裕子（奥州市）

6月2日総会も無事終了し、実質的に、これから平成19年度が始まることになり、事務局は今年の行事を魅力あるものにしなければならない重要な役割を担うことになりました。全ての行事について役員全員で相談しながらベストと思われる案を会員の皆さんへ提示してゆく所存ですのでご協力の程お願いいたします。皆様からもご提案等をお待ちしております。　　事務局一同

【お知らせ】

現在、事務局では事務局の仕事を手伝っていただける方を募集しております。

男･女･年齢を問わず、どなたでも結構です。水曜日に事務局までお電話を下さい。

毎週水曜日 10 時出勤で午後3時ごろまでお願いします。

待遇は月 5000 円（含　交通費）です。

編集後記

総会後の懇親会で、多くの皆さんから「イーハトーブ」を楽しみにしている。県人会の動きが分かってきた。読み易い。などの評価を頂戴した。実は今までにも何件か声を頂きましたが、役員を通しての声でありあまり実感がありませんでした。今回、4～5 人の方から直接お聞きして、やっとお役に立ってきたことを実感し嬉しかった。出来るだけ早く会員の皆さんからの投稿で、1頁が埋まる位になればと思っています。皆さんの積極的な寄稿をお待ちしています。掲載する場合には、編集部が加除修正を加えることがありますが、文意は変更するものではありませんので、ご了承下さい。　松坂記